

2015年度第2四半期 決算説明会

2015年10月26日

株式会社アドバンテスト

ご注意

- ◆当社は米国会計基準を採用しております。
- ◆将来の見通しに関する記述について
本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。

ADVANTEST.

2015年度第2四半期 決算報告

取締役 兼 常務執行役員 中村 弘志

業績概要

(億円)

	2014年度				2015年度					
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	実績	2Q		前年同期比	
							前期比		増減額	増減率
受注高	492	382	387	502			440	271		
売上高	368	421	410	434	403	464	+61	+15.2%	+43	+10.1%
売上総利益	203	229	234	238	226	244	+17	+7.6%	+13	+5.8%
営業利益	24	40	34	48	27	40	+13	+49.1%	0	+1.2%
税引前純利益	32	48	53	56	28	35	+7	+25.0%	-13	-27.4%
当期純利益	13	33	46	37	19	25	+6	+32.9%	-7	-22.1%
受注残	444	404	381	450	487	294	-193	-39.6%	-110	-27.3%

ADVANTEST.

2015/10/26

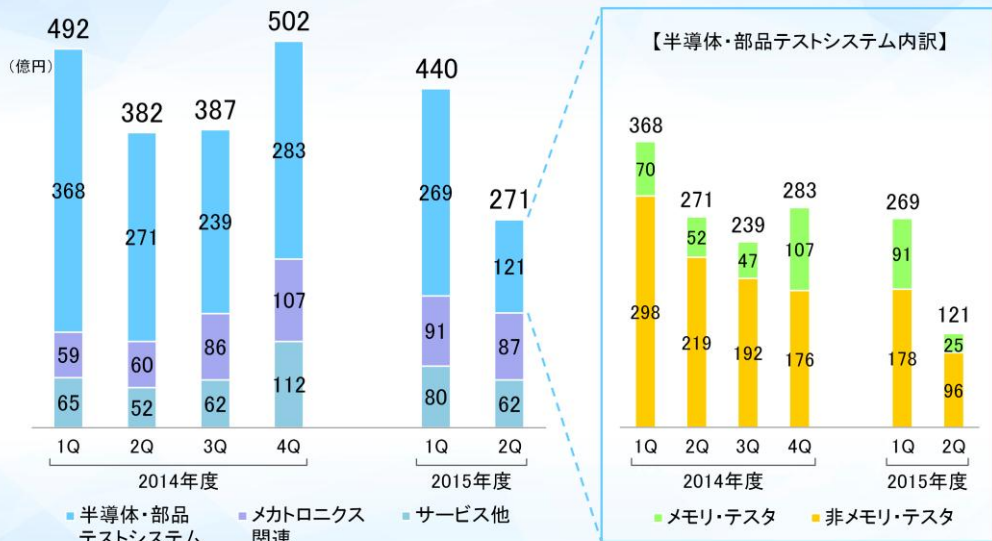
All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

4

○ 2015年度第2四半期の業績概要

- 受注高 271億円 前期比 38.5%減
 - 売上高 464億円 前期比 15.2%増
 - 営業利益 40億円 前期比 49.1%増
 - 税引前純利益 35億円 前期比 25.0%増
 - 当期純利益 25億円 前期比 32.9%増
- 半導体市場の減速感が強まる中、受注高は前期比減少したが想定を上回る売上高を収めた
 - 顧客基盤拡大や、テスト以外のセグメントの強化策が進展
- 受注残 294億円 前期比 193億円減少

受注高 事業セグメント別



※合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

ADVANTEST.

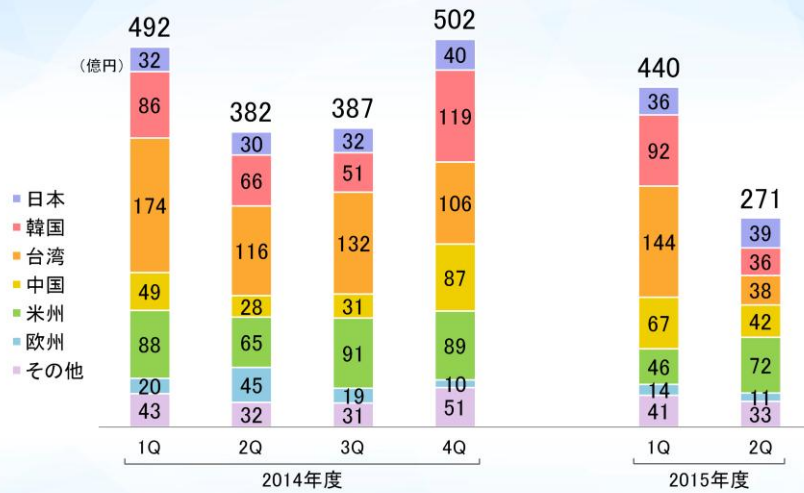
2015/10/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

5

- 2015年度第2四半期の事業セグメント別受注高
- 半導体・部品テストシステム事業
 - ・ 前期比 55%減 121億円
 - うち非メモリ・テスト 96億円
 - メモリ・テスト 25億円
 - ・ 非メモリ・テストは、中国向けスマートフォンをはじめとする最終製品の需要が弱含んだことで、テスト発注が抑制された
 - ・ メモリ・テストも、DRAM、NANDテスト投資一巡や一部顧客の生産ライン立ち上げのずれ込みの影響により減少
- メカトロニクス関連事業
 - ・ 前期比 4%減 87億円
 - ・ テスタ発注が抑制される中、ハンドラやデバイス・インタフェースの受注も減少
- サービス他事業
 - ・ 前期比 22%減 62億円
 - ・ 保守契約受注の季節性の落ち込み

受注高 地域(出荷先)別



ADVANTEST.

2015/10/26

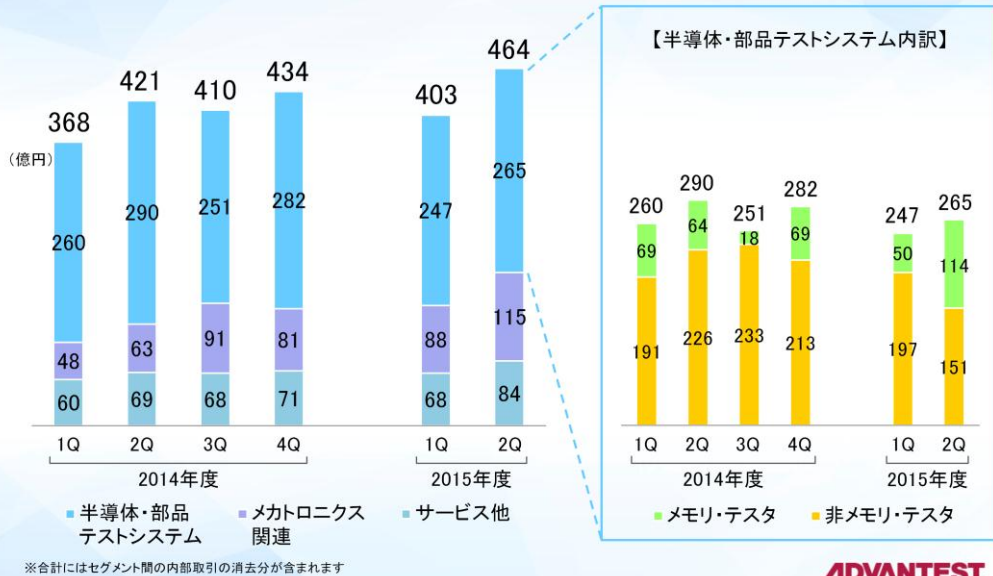
All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

6

○ 2015年度第2四半期の地域別受注高

- 台湾
スマートフォン販売減速の影響を受け、アプリケーション・プロセッサ向けやディスプレイドライバIC向けなど、非メモリ・テストの発注が落ち込む
- 韓国、中国
NAND向けの投資一巡、DRAM顧客の投資計画見直しなどでメモリ・テストの受注が低調
- 米州
ナノテクノロジーが伸びた

売上高 事業セグメント別



ADVANTEST.

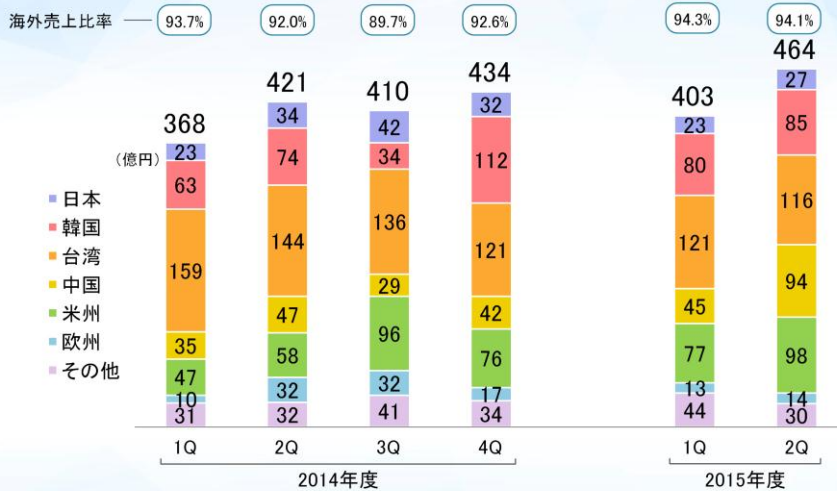
2015/10/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

7

- 2015年度第2四半期の事業セグメント別売上高
- 半導体・部品テストシステム事業
 - ・ 前期比 7%増 265億円
 - うち非メモリ・テスト 151億円
 - メモリ・テスト 114億円
 - ・ 非メモリ・テストはスマートフォン関連で勢いを欠いたがメモリ・テストの伸びが補った
- メカトロニクス関連事業
 - ・ 前期比 30%増 115億円
 - ・ デバイス・インタフェース事業とナノテクノロジー事業が伸びた
- サービス他事業
 - ・ 前期比 24%増 84億円
 - ・ サービス収入の拡大とSSDテストの貢献

売上高 地域(出荷先)別



ADVANTEST.

2015/10/26

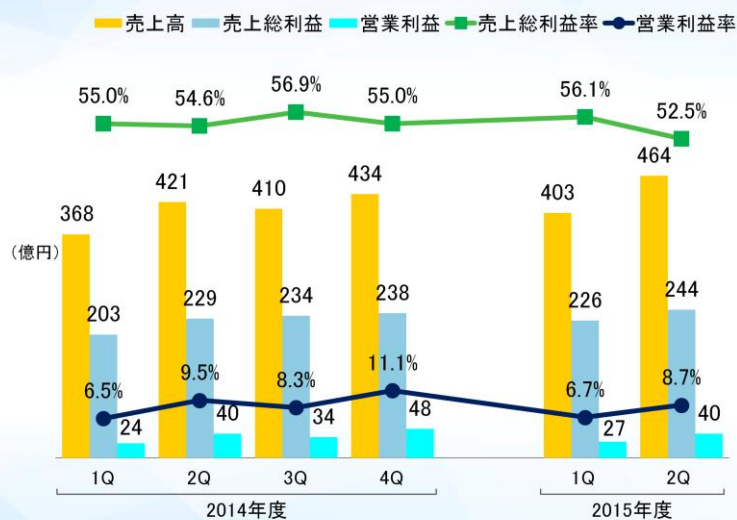
All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

8

○ 2015年度第2四半期の地域別売上高

- 台湾
受注は落ち込んだが、スマートフォン関連の非メモリ・テストの受注残を着実に売上へ転換
- 中国
NAND関連の需要拡大を反映し、売上増
- 米州
ナノテクノロジーとSSDテストが伸びた
- これらの結果、海外売上比率 94.1%

売上高/売上総利益/営業利益



ADVANTEST.

2015/10/26

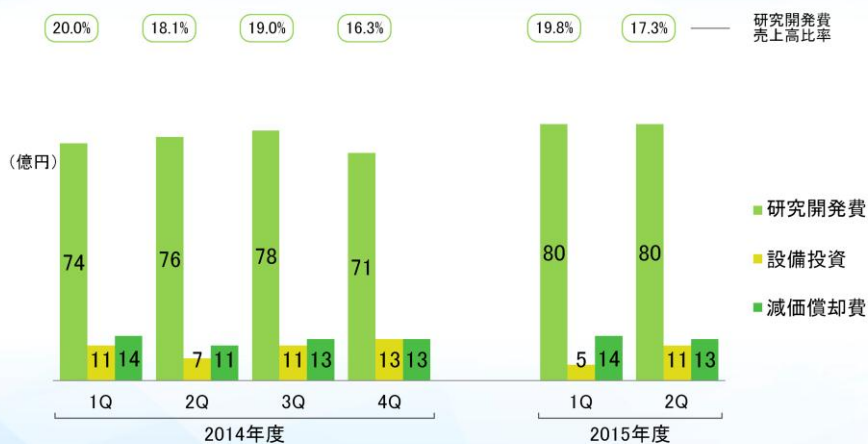
All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

9

○ 2015年度第2四半期の営業損益

- 売上総利益 前期比 17億円増 244億円
 採算性の良い非メモリ・テストの売上構成比が下がったことで
 売上総利益率が前期比3.6ポイント悪化
- 営業利益 前期比 13億円増 40億円
- 営業利益率 8.7%

研究開発費/設備投資/減価償却費



ADVANTEST.

2015/10/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

10

○ 2015年度第2四半期の研究開発費等

- ・ 前期に比べ大きな変動はない
- ・ 研究開発費 80億円
- ・ 設備投資 11億円
- ・ 減価償却費 13億円

バランス・シート

(株主資本)	1,268	1,409	1,451	1,437
(株主資本比率)	50.8%	51.6%	53.7%	55.3%



ADVANTEST.

2015/10/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

11

○ 2015年9月末時点のバランス・シート

○ 資産の部

- ・ 現金預金
前期末比 57億円減 865億円
- ・ 棚卸資産
前期末比 53億円減 366億円
- ・ 総資産
前期末比 106億円減 2,598億円

○ 負債・資本の部

- ・ 株主資本 1,437億円
- ・ 株主資本比率 前期末比 1.6ポイント増 55.3%

2015年度事業見通し

代表取締役 兼 執行役員社長 黒江 真一郎

2015年度業績予想

(億円)

為替前提: 1米ドル=120円、1ユーロ=135円

参考: 7月時点の予想
(1米ドル=120円、1ユーロ=135円)

	14年度 実績	15年度 1Q実績	15年度 2Q実績	15年度 上期実績	15年度 下期予想	15年度 通期予想	通期予想 前年度比	15年度 上期予想	15年度 通期予想
受注高	1,763	440	271	711	789	1,500	-14.9%	820	1,670
受注残	450	487	294	294	350	350	-22.2%	420	470
売上高	1,633	403	464	867	733	1,600	-2.0%	850	1,650
営業利益 営業利益率	146 9.0%	27 6.7%	40 8.7%	67 7.8%	33 4.4%	100 6.3%	-31.6% -2.7pts	80 9.4%	150 9.1%
税引前当期純利益	189	28	35	63	32	95	-49.6%	80	150
当期純利益 当期純利益率	129 7.9%	19 4.7%	25 5.5%	44 5.1%	23 3.1%	67 4.2%	-48.3% -3.7pts	62 7.3%	120 7.3%

ADVANTEST.

2015/10/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

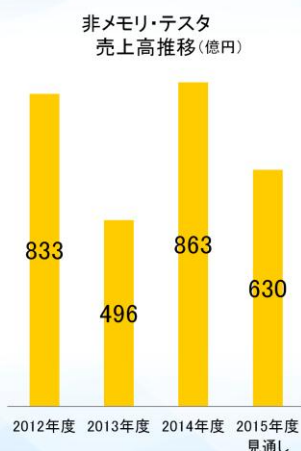
13

○ 2015年度の業績予想値

- 下期予想は
 - 受注高 789億円 従来予想比 61億円減
 - 売上高 733億円 67億円減
 - 営業利益 33億円 37億円減
 - 当期純利益 23億円 35億円減
- 通期予想は
 - 受注高 1,500億円 従来予想比 170億円減
 - 売上高 1,600億円 50億円減
 - 営業利益 100億円 50億円減
 - 当期純利益 67億円 53億円減
- 商談状況から受注は2Qを底とし、3Q、4Qと回復していくと見込む
- 売上については3Qが底になると想定

各事業の状況

■ 半導体・部品テストシステム事業



非メモリ・テスト

- ✓ 中国経済の減速に端を発した中国スマートフォン販売の鈍化により、主要顧客のテスト発注が停滞
- ✓ 15年末から16年初にかけて、ハイエンド・スマートフォン向けロジックICの生産量増加が見込まれ、ここを起点に非メモリ・テスト需要は本格回復へ
- ✓ 今後のデバイス複合化の進展を見据え、引き続きMCU、車載IC、IoTデバイス関連企業との関係を強化

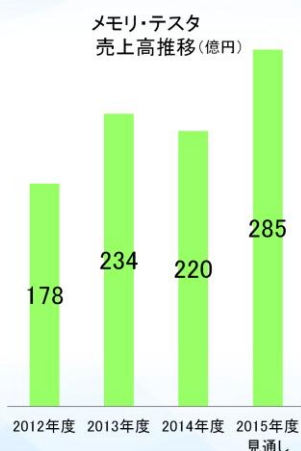
ADVANTEST.

○ 非メモリ・テスト事業の状況

- スマートフォンの最大需要地域である中国で、景気減速によりスマートフォン販売が落ち込み
- これを受け、夏場以降、中国市場と関係が深い当社主要大手顧客の半導体増産に向けた動きが停滞
- 15年末から16年初にかけ、ハイエンド・スマートフォン向けチップの生産量増加が見込まれる。ここを起点に、非メモリ・テスト需要が回復していくと想定
- その先には中国4G関連需要の回復、新興国向けの中低価格帯スマートフォンの普及なども見込まれる。これらの見通しを総合し、2016年の非メモリ・テスト市場は伸びていくものと見込む
- IoT関連デバイスでは、RF回路、センサ、MCU、アナログ回路を複合する流れがある。テスト効率を考えた、インテリジェント・テスト手法のソリューションが求められている
- この動きを踏まえ、MCU、車載IC、IoT関連企業との関係をさらに強化デバイス複合化に伴うテスト需要の取り込みを確かなものとする

各事業の状況

■ 半導体・部品テストシステム事業



メモリ・テスト

- ✓ DRAM/NANDは微細化、高速化、容量増が進展
堅調なテスト需要を見込める環境が持続
- ✓ 今秋のPC用新チップセットの投入と連動し、
各DRAMメーカーでDDR4生産比率が上昇する見通し
高速DRAMテストの導入進展を期待
- ✓ 下期は「T5503HS」「T5833」による市場シェアの伸び
を期待
- ✓ 新たなテストソリューションが望まれている
UFS/PCIe向け、フラッシュメモリ向けで下期に
新製品投入、売上見通しの達成を確かなものにする

ADVANTEST.

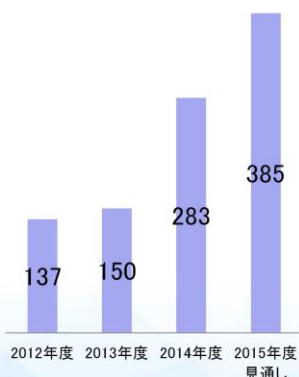
○ メモリ・テスト事業の状況

- 現在、DRAM/NANDとも、顧客のテスト投資のテーマは
メモリの高速化・容量拡大トレンドへの対応
- 当初2Qに受注計上を予定した案件が下期にシフトしたことで、
上期は受注高が思ったほど伸びなかった
- しかしDRAM/NANDとも、微細化、高速化、容量増の流れは着実に進展中、
堅調なテスト需要を見込める環境が持続している
- この流れに沿い、下期は「T5503HS」「T5833」が販売の中心となって
市場シェアを伸ばすものと期待
- 下期のビジネスを確かなものにするため、NANDのUFS/PCIe I/F向け、
NORフラッシュ向けに新製品を投入予定

各事業の状況

■ メカトロニクス関連事業

メカトロニクス関連
売上高推移(億円)



ナノテクノロジー

- ✓ 上期は新規顧客獲得などで成果
- ✓ 通期で前年同期比4割増収を目指す

デバイス・インタフェース

- ✓ 上期はメモリ向けが好調に推移
- ✓ 非メモリ・テスト向けのビジネス拡大などで、今期は前年同期比2割以上の増収を狙う

テストハンドラ

- ✓ 温度コントロールや狭ピッチに対応した当社のハンドラに対し、非メモリ用、メモリ用ともハイエンド・デバイス向けで強い引合い

ADVANTEST.

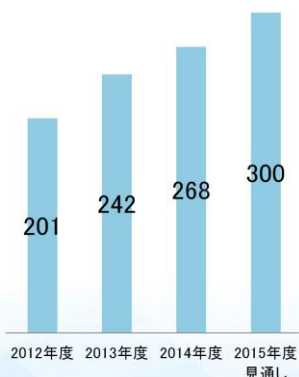
○ メカトロニクス関連事業の状況

- ナノテクノロジーは、微細加工・計測ニーズが盛り上がる中、当社EB技術への期待も高まっている
新規顧客の獲得など、ポジティブな成果を上期は重ねることが出来た
下期もきめ細かく顧客の技術要求への対応を図り、前年比4割増収にチャレンジ
- デバイス・インタフェースは、メモリ向けが上期は好調
下期は非メモリ・テスト向けのビジネス拡大を進め、テスト売上が前年度比減少する環境でも、前年比2割増収を狙いたい
- テスト・ハンドラは、ハイエンド・ロジック/メモリ向けともに、デバイス発熱対応や高低温試験対応のための温度コントロール技術、微細なピッチのパッケージに対応する技術への要求が強い

各事業の状況

■ サービス他事業

サービス他
売上高推移(億円)



フィールドサービス

- ✓ 年間保守契約拡大とポストセールス商材の拡充でサービス収益基盤を引き続き強化

新規事業群

- ✓ SSDテストは高速I/FのSSD普及が具体化しつつある中、事業拡大に努める
- ✓ テラヘルツ波ソリューションが2.1/2.5/3D半導体のパッケージ膜厚測定用途で採用拡大
- ✓ 光超音波顕微鏡を下期より発売開始
再生医療実験現場や、皮膚科、形成外科等の研究現場における理科学機器としての普及を図る



光超音波顕微鏡
「Hadatomo™」

ADVANTEST.

○ サービス他事業の状況

- サービス他部門の中核のフィールド・サービス事業はここ数年、保守契約の拡大を基点に、収益を持続的に伸ばしてきた
下期もポストセールス商材拡充の取り組みなどで、さらに収益基盤を強化したい
- SSDテストは、高速I/Fを実装したSSDの普及が具体化しつつある中、商談拡大と事業拡大に努める
- テラヘルツ波ソリューションは、2.1/2.5/3D半導体のパッケージ膜厚測定用途で上期に実績を作ることができた
半導体の組立工程は、ハイエンド・デバイス向け中心に技術進化が進んでおり、製造難易度も上昇中。当社にはチャンスになる
- これまで社内で蓄積した技術を活かし、光超音波顕微鏡を下期に発売開始

まとめ

- ✓ 2015年の半導体テスト市場縮小を期初から予測していたものの想定以上の環境悪化
- ✓ 外部環境の悪化を受け、半導体・部品テストシステム事業の今期売上は従来予想比15%減の915億円となる見通し
- ✓ メカトロニクス関連事業、サービス他事業は堅調な推移が見込まれる
- ✓ 結果、全社売上高は従来予想比3%減の1,600億円となる見通し
- ✓ メカトロニクス関連事業、サービス他事業の育成は最大の課題
今後も強化に努める

ADVANTEST.

○ 本日のまとめ

- 顧客の生産予定やテスト投資予定などを踏まえ、期初からテスト市場の縮小を見込んでいたものの、テスト市場の環境悪化は想定以上
- 半導体・部品テストシステム事業の今期売上を期初1,080億円と見込んでいたが、15%減の915億円となる見通し
- 半導体・部品テストシステム以外のセグメントであるメカトロニクス関連事業やサービス他事業は上期に引き続き下期も堅調な売上推移を見込む
- それらを織り込んだ今期の全社売上予想は1,600億円、従来予想1,650億円から3%減にとどめることができる見通し
- メカトロニクス関連事業、サービス他事業の育成は最大の経営課題
半導体テスト市場が低調な局面でも売上、利益を伸ばせるよう今後も半導体テスト以外の事業の強化に努める